修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　前田　寛
〒101 東京都千代田区
西神田2-8-7（幅ビル）
☎03（3262）2426・2932
振替（東京）6－36337

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。
（財団法人　全国修学旅行研究協会の趣意書から）

公立小・中・高校
児童生徒数の減少続く
文部省学校基本調査

私立校は漸増傾向

文部省は八月六日、平成三年度学校基本調査の速報を発表した。これは、全国の学校を対象に五月一日現在で調査したもので、修学旅行と関係の深い学年別の在学者数は、高校三年生をピークに、小学校四年生まで減少の傾向が続き、一時横ばいとなるが、一年生では再び減少している。

本年度の学年別児童生徒数は別表のとおりで、前年度に比べ小学校は二十一万六千人減少して過去最低となり、中学校は十八万人減、高等学校は十六万七千人減となった。

教員数は小学校四十四万五千人、中学校二十八万七千人、高校二十八万六千人で、いずれも前年度より微増、特に女性の増加が目立ち、その比率は小学校59・3%、中学校37・3%、高校20・9%と過去最高を示している。

また、学校数は、小学校が人口減少の大都会中心部やへき地の十一都道県で減、大都市周辺など十七県で増、差引二十九校の減となり二万四千七百九十八校、高校も三校減少して五千五百三校となったが、中学校は十五校増加し一万一千二百九十校となった。

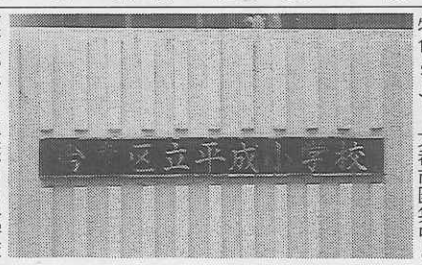
児童生徒数の減少傾向を指数で示すと、人員の最も多い高校三年生を100とした場合、中学三年生は97、中学一年生は92、小学一年生は80となり、年齢別人口からみても、今後の小学校入学者数は減少の一途をたどることになろう。

また、高校への進学率は過去最高の95・4%を示しているが、高校の生徒数も、既に減少傾向に入っている。

小・中学校の児童生徒数減少傾向は、すべての都道府県に共通しており、特に東京・大阪・神奈川など大都市を含む都府県で著しい。

公私立別では、減少は公立校の特色的現象で、私立校に関しては、小・中・高の在学者数の格差は大きいが、むしろ漸増の傾向にあり、受験戦争、学校経営などとの関連がうかがえる。更に、私立校の特色として、大都市圏集中と女子の多いことが目立つ。

その結果、もともと全都道府県で男子の比率が高いのに加え、大都市圏の公立校では一層女子の比率低下が顕著に現れ、教員の比率とは逆になっている。ちなみに、男子児童生徒の比率は、全国総計で小・中学校はいずれも51・2%、高校は50・4%であるが、東京都の公立では小学校51・6%、中学校53・2%、高校54・0%となる。



東京都心では伝統ある小学校も廃止統合され新しい校名に

平成3年度在学者数（　）内はうち私立　（単位：千人）

校種＼学年	計	1	2	3	4	5	6
小学校	(65) 9,157	(11) 1,464	(11) 1,502	(11) 1,512	(11) 1,511	(10) 1,546	(10) 1,623
中学校	(211) 5,188	(74) 1,681	(70) 1,733	(67) 1,775	－	－	－
高等学校	(1,575) 5,456	(520) 1,775	(528) 1,820	(523) 1,825	(1) 29	専攻科 別科	(4) 8

時言
今年の修学旅行前半を終わって

編集委員　中島和友

長かった春の修学旅行シーズン。今年も七月十二日の関東地区中学校連合の帰着をもって無事に終了し夏休みに入って、林間学校、臨海学校などの「集団宿泊的行事」が主流となった。混雑を避けて、夏休み中に修学旅行を実施している学校もあるが、小・中学校の本年度の修学旅行は、ほぼ終了したとみて、春のシーズンを振り返ってみたい。

まず、交通機関については、東海道新幹線「こだま」号の全編成十六両化が完了、昨年のような直前まで編成が分からない不便さは解消した。一方、東北・上越新幹線は六月二十日に東京駅へ延長され、早速初日から修学旅行団体もその恩恵に浴したが、延長に伴う編成順序の変更が五月から徐々に行われ、昨年の「こだま」号同様の問題はあった。しかし、春は台風などの影響もなく、順調にシーズンを終了したといえよう。

バスに関しては、四十人学級とクラス別配車による一人当たり費用の増加、二学級が一台に乗車可能でも二階建バスは指導上不評、東京都内の交通渋滞深刻化、京都でのタクシー修学旅行増加による交通渋滞などの問題が出ている。京都では清水の駐車場に入れず、五条大橋辺りでバスを降り、歩いて清水寺に向かった事例も多い。

次に、宿泊については、一校一館希望がシーズンピークの宿舎不足に拍車をかけ、特に東京都内ではこれが一層深刻になって、ビジネスホテルの利用が日常化、更に近県の宿舎からバスで都内見学に通う例も多く、福島や仙台から新幹線で上京する方が時間が短いとの声もある。

また、見学については、東京、鎌倉、奈良、京都、長崎など、グループ別自主行動が増加したが、ややもすれば自由行動に走りがちであり、生徒の指導監督に関しては、宿舎の一校一館主義と矛盾するといえよう。そして、見学先も従来の社寺中心、国文学・日本史中心から、自然と文化に触れる体験学習、更に今流行のテーマパーク体験に様変わりを続けている。

もう一つ、旅行の形態は、全体行動から学級別、グループ別行動に細分化されて来たため、荷物の別送が増加した。グループ別見学は小学校にも普及、荷物別送は宿舎における積み下ろしの人手不足の問題を起こしている。また、初日の昼食弁当を列車に一括積み込む学校も増えた。母親が心尽くしの弁当を作るのはもはや時代遅れなのだろうか。

公立校の航空機利用・海外修学旅行許可は西日本から東日本へも及び、平成四年度以降東京都立高の航空機利用、宮城県立高の海外修学旅行が解禁され、更に岐阜県では、本年度から小・中・高すべて航空機利用は学校で検討、海外は所轄教育委員会と協議することに改められ、多様化は一層進む傾向にある。

やがて秋の修学旅行シーズンに入る。高校二年生が中心となるが、台風や雲仙・普賢岳の様子は十分確認しなければなるまい。そして、自主行動が常軌を逸しないよう、安全対策には万全を期さなければならない。

今後、学校行事の増加と輸送力の増強により、修学旅行のシーズン集中と宿舎不足はますます激化するであろう。博物館・美術館などが休館する月曜日、更に土・日曜日を避け、実施日が火曜日から金曜日の間に集中、需要と供給のアンバランスは一層大きくなる。輸送力は強化されても、宿舎の定員には限りがあり、旅行日程の早期決定とシーズン・実施日の平準化が望まれる。

第6回全修協修学旅行セミナー
9月25日　大阪市で開催

財団法人全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）では、修学旅行の課題と在るべき姿を追求し研究するため、「修学旅行セミナー」を、本年は次のとおり開催する。

日時　平成三年九月二十五日（水）十三時
会場　大阪市教育青年センター（JR・地下鉄森ノ宮駅下車）
主催　㈶全修協
後援　文部省
協賛　関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会
テーマ　21世紀に向けて修学旅行の課題と使命
特別講演　「修学旅行の課題と使命」文部省教科調査官渡部邦雄氏
記念講演　「私の修学旅行」（講師人選中）
問合せは㈶全修協本部☎03・3262・2932又は大阪事務局☎06・202・6500へ。

平成四年度の修学旅行
海外・航空機が更に拡大

公立高等学校の海外修学旅行、航空機利用許可状況は、平成四年度には本年度よりも更に拡大される。

㈶全国修学旅行研究協会の行った平成三年度修学旅行実施基準概要調査については、本紙第353号で概略をお知らせしたが、来年度以降の許可状況は、条件付も含め、次の都道府県、政令指定都市となる。

【海外修学旅行】宮城、富山、福井、岐阜、静岡、滋賀、鳥取、岡山、広島、山口、徳島、香川、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島、沖縄の十九県と福岡市。

【航空機利用】そのほか北海道、東京、石川、宮崎を加えた一道一都二十一県と、札幌、横浜、京都、北九州を加えた五政令指定都市。ただし滋賀は海外旅行の場合に限る。

また、小・中学校については、海外旅行は岐阜県のみが認め、航空機利用は岐阜、鹿児島、沖縄の三県が既に認めており、来年度は更に拡大される可能性もある。

許可の拡大は地方空港の整備に負うところが多く、地元に空港がないため、近県の空港を利用する場合も見受けられる。

公立高校の海外修学旅行、航空機利用許可状況（平成4年度）

風紋

「夏の来て夏はや深き嵐山」樗堂。トロッコ列車の人気上昇で、この夏大堰川水辺を楽しむ人は、特に多い。嵯峨野めぐりも大いににぎわう。汗をふきながら、落柿舎の縁に座して句吟する人の姿もある。夏は今盛りだ。「石も木も眼（まなこ）に光る暑さかな」去来▼「鉾に乗る人のきほひも都かな」其角。祇園祭、天神祭、東北四大祭等々、夏は祭のシーズンでもある。年々絢爛（けんらん）豪華になる。能登半島では「キリコ」と呼ぶ御神灯が舞う。七月から九月にかけて各地でくりひろげられる息の長い祭りだ。「キリコ」は海から幸せを運ぶ船を意味するという。「ふるさとの波音高き祭かな」真砂女▼「膨れ来る大浪うけて泳ぎかな」水巴。海にはプールで味わえぬよさがある。磯の香りや潮騒は人々の郷愁を誘う。一方、山や高原には高山植物が今を盛りと咲き競う。歩むごとに展望が開け、疲れを忘れる。「夏山や一足づつに海見ゆる」一茶▼「桑の葉の照るに堪へゆく帰省かな」秋桜子。八月の旧盆は帰省の季節でもある。墓参りをして祖先の霊を祀る。「灯籠流し」など、故郷では精霊送りの行事も盛んだ。古都では「大文字」送り火が夜空を焦がす。「大文字今は燃えつつ静かなり」海道▼「雲の峰幾つ崩れて月の山」芭蕉。積乱雲も夏の風物詩の一つ。旅行もハイ・シーズン。教職員研修旅行も修学旅行の下見も。夕立が来て今開いたばかりの夜顔をたたく。土産にもらった軒下の風鈴がしきりに鳴る。「風鈴や花にはつらき風ながら」蕪村。（北）

信頼される旅づくり

心にあざやかな想い出、
ツーリストの修学旅行。

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く想い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

近畿日本ツーリスト
本社 〒101 東京都千代田区神田松永町19-2
支店／国内250店（登録）／海外15店　㊫運輸大臣登録一般旅行業第20号

京都への修学旅行 昨年は115万4千人に

中・高は減少、小は増加

京都市観光調査年報から

京都市文化観光局は、「京都市観光調査年報（平成二年）」をまとめ、この程発表した。

昨年一年間に京都を訪れた観光客総数は四千八十四万六千人で、前年（平成元年）より二百二十二万六千人、5・8％増加、初めて四千万人の大台を突破した。

昨年は、大阪で開催された「花と緑の万博」とNHKのテレビドラマ「京、ふたり」の影響が観光客増加につながったものとみられ、土産物のうち、漬物の伸びは著しく、特に年末に千枚漬が品薄になったのは、テレビドラマの効果といえよう。

このうち、伸びの著しいのは外国人観光客で、大阪・千里で万博が開催された昭和四十五年の四十八万六千人に次ぎ、四十六万四千人を記録、前年より八万五千人、22・4％増加した。

しかし、京都に宿泊した修学旅行客は昭和六十年からの減少傾向が依然継続し、前年より八万一千人、6・6％減少して百十五万四千人となった。

校種別では、小学校は校数、人員の増加がみられ、前々年の水準に戻ったが、中学校は校数の増加にもかかわらず人員は減少が続き、前年微増の高等学校も、前々年の人員を割っている。

月別の修学旅行客数（報告分）は第2表のとおりで、春に小・中学校、秋に高校が集中、前年より人員が増加したのは十一月だけであった。

出発地別では、関東47％、中部20％、東北10％の順で、小学校は中部からが55％、中学校は関東からが67％を占める。また、校種別のトップは、小学校が愛知県、中学校が東京都、高校が北海道である。

次に、訪問地調査では、修学旅行生に相当する十九歳以下をみると、清水坂周辺、嵐山、金閣寺、二条城、銀閣寺がベスト5で、他の年齢層よりも高率を示しているのは、太秦映画村、祇園・八坂神社などである。前年に比べ、清水坂周辺、銀閣寺が大きく上昇したが、なぜか新京極、竜安寺は著しく後退した。

同じく十九歳以下の土産品のランクでは、八ツ橋、生八ツ橋、装飾調度品が相変わらず御三家で、漬物は前年より人気上昇したものの、他の年齢層よりかなり低率である。

今後は、児童生徒数の減少傾向が続くので、修学旅行客の増加は余り期待できない。総観光客に対する割合も、前年の3・2％から2・8％に後退したが、修学旅行目的地のトップの座は不動のものである。また、小学校の増加は特に十一月に顕著に現れており、実施時期、目的地の見直しが行われたものとみられる。

長年にわたり修学旅行の連合体による計画輸送が実施されているが、最近は新幹線、高速道路とも大幅に増強されて、シーズンの繁閑の差がますます著しくなっている。計画輸送以外の学校は、第2表を参照の上、実施時期平準化に協力してほしいものである。

第1表　修学旅行客数　上段平成元年　下段平成2年（単位：校、千人）

区分		総数 校数	総数 人数	小学校 校数	小学校 人数	中学校 校数	中学校 人数	高等学校 校数	高等学校 人数
報告分		5,136 5,167	1,133 1,060	1,090 1,128	107 123	2,281 2,375	577 508	1,765 1,664	449 429
推計分		—	102 94	—	12 12	—	57 49	—	33 33
総計	人数	—	1,235 1,154	—	119 135	—	634 557	—	482 462
	割合(%)	100.0 100.0		9.7 11.7		51.3 48.3		39.0 40.0	

（説明）報告分とは宿泊施設からの報告分を集計したものであり、推計分とはそれ以外の宿泊施設について類似規模の施設を参考に推計したものである。

第2表　月別修学旅行客数（報告分）　（単位：校、千人）

区分	総数 校数	総数 人数	小学校 校数	小学校 人数	中学校 校数	中学校 人数	高等学校 校数	高等学校 人数
1月	4	1	—	—	—	—	4	1
2月	51	13	3	—	21	5	27	8
3月	147	31	2	—	50	8	95	23
4月	850	145	246	25	587	115	17	5
5月	1,196	218	422	42	731	167	43	9
6月	692	151	113	12	551	134	28	5
7月	148	35	2	—	99	24	47	11
8月	42	10	—	—	2	—	40	10
9月	438	79	69	7	156	22	213	50
10月	864	190	201	23	113	19	550	148
11月	597	153	61	13	55	12	481	128
12月	138	34	9	1	10	2	119	31
計	5,167	1,060	1,128	123	2,375	508	1,664	429

（説明）この表は、平成2年の報告による修学旅行客について月別にあらわしたものである。

第3表　修学旅行客の年次推移　（単位：千人）

年次	総数	小学校	中学校	高等学校
昭和58年	1,349	156	682	511
昭和59年	1,456	182	704	570
昭和60年	1,445	183	690	572
昭和61年	1,429	174	696	559
昭和62年	1,382	169	690	523
昭和63年	1,256	134	652	470
平成元年	1,235	119	634	482
平成2年	1,154	135	557	462

ますます盛んな 京都の タクシー利用 修学旅行

ホテルの玄関から五人ずつタクシーで市内見学に（埼玉・川島中）

修学旅行で京都を訪れる学校のタクシー利用が、年々増加している。

修学旅行のグループ別行動化が進み、特に京都の場合は、見学場所、交通事情などの条件がタクシー利用に適しているため、昨年度の関東地区公立中学校修学旅行委員会の調べでも、タクシー利用の急増が報告されており、今年は更に増加しているとみられる。

たまたま行程や時間の都合でタクシーを拾うのでなく、あらかじめ五人ずつのグループを編成、前もって計画した見学地を回るもので、むしろハイヤー的利用方法であり、事前に手配された同型・同色の数十台のタクシーが並ぶ光景は、京都ならではのものである。

交通渋滞が激しく、見学場所が広く各地に散在する東京では不可能である。かつてはぜいたくな乗り物として、一部の小規模校を除いては考えられなかったタクシーも、今の京都では修学旅行の主要な交通機関となっている。

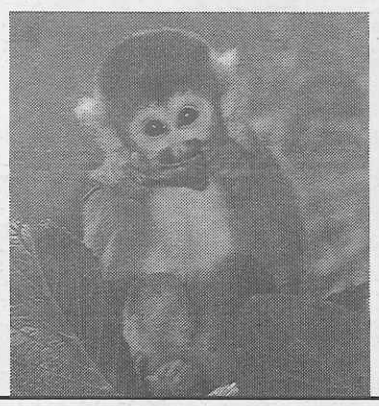
普通の自主見学と違って、親切な運転手がついており、無線電話も完備、野放しの状態とは格段の安全性が保証される。また、狭い道の通行や宿舎の玄関横付けも可能で、バスにない利点も多い。

タクシーを使った修学旅行は、次のようなメリットが考えられる。①時間が節約できる。乗換え、バス待ち等がなく見学地を無駄なく数多く巡ることができる②運転手がガイドしてくれるので、教師の手間が省ける③危険な道路を長く歩くこともなく、交通安全上有益である。また、他の学校の生徒とのトラブル防止にも、かなり有効な手段でもある。

反面次のようなデメリットも出てくる。①旅行費が若干増加する②運転手任せでは教師の主体性を損なうおそれがある③生徒の自主性や創造性を育成する絶好の機会を、捨て去ることになりかねない④見学地の交通体系を乱すことになる。大規模校は一校だけで百台のタクシーが必要となる。現に京都市で、シーズン中タクシーが、大きな寺や神社の駐車場からあふれ、近所迷惑になったり、タクシーを呼んでも、出払っていてすぐに来ないなどの声が、住民から聞こえている。

タクシーの利用を計画するときは、以上の長所短所を勘案し、安易に時流に身を任せないことも、大切ではなかろうか。

「動物たちのあったかラ・ン・ド」



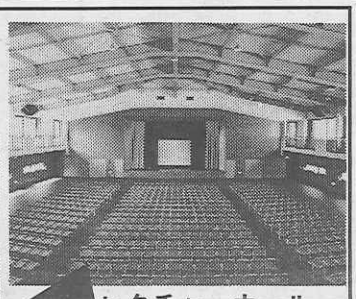
●営業受付時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金（消費税含む）
高校生1,100円　中学生　800円
小学生　700円　ガイドラジオ
バス1台につき1,030円
（平成2年10月22日から改定）

別府あじむ草原　博物館相当施設
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（0978）48-2331(代)
FAX（0978）48-2330

KANSAI KISEN
大阪・神戸 直行便 別府 さんふらわあ 12,000トン

大阪南港 19.00発→8.20着 神戸中突堤 20.30発→6.50着 別府 8.00着←19.20発
信頼の船旅
関西汽船
船客営業部販売課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06) 344-7031 及び
東京支社 東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03)3274-4273 旅行代理店へ

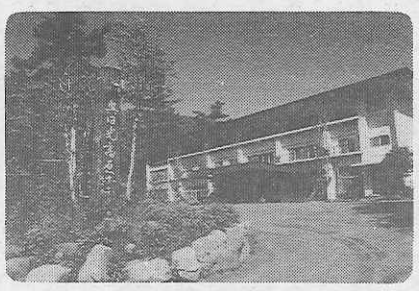
とびだせ自然へ
緑の箱根へ



レクチャーホール

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164
電話0460-4-8595（代表）
箱根高原ホテル

●修学旅行／林間学校／スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語らい……



夏は林間学校、冬はスキー
自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください
鉄筋3階建／小学生550名／中学生550名／高校生450名収容／大浴場あり
奥日光高原ホテル
〒321-16 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)

ホテルK棟

きっと、思い出いっぱいの旅になる。
修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。
見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれる〈ホテルK棟〉をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしています。
そのほか、北欧風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジF棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

▲横G体験が新しいサイドフォース カート（モートピア）

体験学習のご案内
●エンジン教室●本田技研鈴鹿製作所工場見学
●モートピア●モータースポーツ観戦●地曳網
●潮干狩●伊勢形紙彫り●茶摘み●テーブルマナー 他

お問い合わせ・お申し込みは——
鈴鹿サーキット
〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎(0593)78-1111
東京営業所 〒107 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワービル東館16階 ☎(03)3582-3221